

3学期の3大検定試験で、今、学年の3大検定すべての合格を果たそう

— 3大検定は成績向上と希望校合格に直結 —

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：「3大検定」とは何ですか。

A：「英語検定」「漢字検定」「算数・数学検定」の3つの大切な検定のことです。開倫塾では「3大検定」の受験と合格をすべての塾生の皆様に奨励しています。

Q：なぜですか。

A：3大検定合格のための受験勉強は、大幅な学力アップとなりますので、学校成績の向上と、希望校合格に直結するからです。

Q：3学期には、3大検定の何級を受験すればよいのですか。

A：(1)3大検定には、学年ごと「学年相応級」が明示されています。現在の学年が終わる3学期中に「学年相応級」を受験し、合格することを目指してください。

(2)既に学年相応級に合格している検定試験があれば、立派です。3学期には次の級に挑戦してください。

Q：不得意な科目については、どうしたらよいのですか。

A：(1)決して無理をせず、現在の実力に相応した級を、3学期には、まずは十分準備をして受験する。合格を果たしたら、来年1学期に次の級に挑戦し続けることをお勧めします。

(2)例えば、中学3年生、高校3年生でも英語が不得意なら、迷うことなく、5級からスタートしてください。漢字が不得意なら10級からスタートすることです。

(3)よくわからないところまで^{さかのぼ}り学ぶことを、「^{そきゅう}遡及学習」といいます。3大検定でも「遡及学習」をお勧めします。

Q：よくできる教科はどうしたらよいのですか。

A：(1)学年相応級以上の級に挑戦しよう。勉強に遠慮は不要です。どんどん、先の級まで取得すること。

(2)よくできる教科は中学卒業までに3大検定の準2級に合格を果たすこと。高校卒業までに2級合格を果たすこと。

(3)超難関大学に合格したければ、高校1～2年生で3大検定2級合格を果たし、高校3年生で準1級に挑戦することです。遠慮は一切いりません。

Q：受験学年の塾生も、3学期に3大検定に挑戦した方がよいのですか。

A：(1)もちろんです。私立中学校や公立中高一貫校を受験する現小6生、高校入試を受験する現中3生、大学入試を受験する現高3生で、学年相応の3大検定に合格を果たしていない塾生は、受

験勉強だと考え、全員3学期の3大検定に申し込み、すべて合格を果たしてください。

(2)中3生は3大検定3級合格を果たして高校進学を、高3生は2級合格を果たして大学進学をしてください。

(3)3学期の3大検定は、受験勉強そのものですので、受験生こそ3大検定は必要です。学年相応級に合格していない3大検定は、たとえ入試が終わった後でも受験し、合格を果たすことが、上級学校での勉強に役立ちます。また、自信にもつながります。

Q：どのように勉強したらよいのですか。

A：(1)英検は過去問集を徹底的に分析すること。分析が済んだら、問題本文、設問、選択肢、解答・解説を繰り返し、音読練習、書き取り練習をし、スミからスミまで覚えてしまうことに尽きます。リスニングCDは毎日聞くこと。2次試験の面接カードと模範解答も、音読練習と書き取り練習を行い、すべて覚える。

(2)漢検は、「ステップ問題集」を肌身離さずいつも持ち歩き、繰り返し音読練習と書き取り練習を行い、すべて覚える。

(3)算数・数学検定は、学校や開倫塾のテキストを、まずはしっかり学習する。学習したら過去問を分析し、同じ計算や問題を5～6回やり直す。「計算・問題」を見た瞬間に正解が出るものを一つでも多く増やすこと。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)学校での勉強の中で最も「努力が報われる」のが、「3大検定」です。

(2)合格に向けて「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心に)取り組めば必ず合格するのが、3大検定です。

(3)「定着のための3大練習」である「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」はじめ、開倫塾の「学習の3段階理論」を用いて学習すれば、抜群の効果が出るのも、この「3大検定」です。

(4)「学習の3段階理論」を用いて、一定の期間の学習をすれば、「3大検定」は必ず合格します。

(5)「3大検定」合格は、入試や就職試験にも役立ちます。社会に出て仕事や生活する上でも役に立ちます。人生において大きな自信にもなります。

(6)高校や大学に進学した後も、学年相応の3大検定に挑戦し続け、充実した人生を目指しましょう。

2016年11月14日(月)記

(宇都宮大学大学院工学研究所 客員教授)

